

<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	環境生活部	所管課	文化振興課	
施策名	地域における文化・芸術活動の振興			施策コード	03152	
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)C	
知事公約	C0078 C0082	総合戦略	A4623	国土強靱化	-	事務事業数 13
SDGs	-			総合判定	概ね順調	

**【1 Plan】**

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動への参加機会や文化に触れる機会の充実を図る。</li> <li>若手芸術家への活動支援や地域の文化活動を支える人材育成の取組を推進する。</li> <li>まんがをはじめとするメディア芸術の振興を図る。</li> </ul>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化に対する関心や期待の高まり</li> <li>新型コロナウイルスの影響による活動機会の減少</li> <li>文化芸術活動団体や個人に対する支援の取組を推進</li> </ul>					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道文化財団が行う事業に補助し、地域文化活動の促進や芸術文化鑑賞の機会の拡充を図る。</li> <li>札幌交響楽団の公演活動に補助し、優れた音楽鑑賞の機会の拡充や演奏指導の促進を図る。</li> <li>北海道文化団体協議会の活動に補助し、道民芸術祭など、地域文化活動の促進を図る。</li> <li>北海道を素材にしたオリジナル作品を募集する「まんが大賞」を実施するなど、まんが・アニメ等のメディア芸術の活用により、まんが文化の振興やコンテンツ関連産業の育成を図る。</li> </ul>					
予算額(千円)	R3	404,203	R2	283,184	R1	225,316
施策のイメージ						

**＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	作品数	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
北のまんが大賞応募作品数	目標値		65	70	75	100	352.0%	A
	実績値		116	101	264	-		
設定理由	創生総合戦略の基本戦略「地域文化の振興や魅力発信」の観点からまんが文化の振興やコンテンツ関連産業の育成を図るための効果的な取組の成果を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
新たにイラスト部門を設置し、親しみやすい募集テーマにしたことで、応募者が増加傾向にある。								

指標名②	増加	人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
アートシアター鑑賞事業の参加者数(文化財団実施事業)	目標値		-	-	12,000	15,000	-	-
	実績値		-	-	-	-		
設定理由	総合計画の政策の方向性「生活に潤いと豊かさをもたらす芸術文化の振興」の観点から芸術文化に触れる機会の創出のための効果的な取組の成果を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
道内市町村や各地域の文化団体等と連携し、魅力ある企画の立案・公演等の実施に取り組んでいる。(今年度から新たに設定した指標のため達成率は算定不可)								

指標名③	増加	万人	H22年度	H26年度	H29年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
文化会館入場者数	目標値		48	48	48	50	85.4%	C
	実績値		46	40	41	-		
設定理由	総合計画の政策の方向性「生活に潤いと豊かさをもたらす芸術文化の振興」の観点から芸術・文化活動への道民の参加状況に係る成果を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
当該指標は、3年毎に文部科学省が調査しているため、令和2年に公表された平成29年度の調査結果に基づき達成度を分析する。H22年からは入場者数が減少しているものの、文化財団実施事業等を通じて道民の文化活動への参加が促進され、H26年からは入場者数を維持できたものと考えられる。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	地域における文化・芸術活動の振興	施策コード	03152
---------------	-----	------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	北のまんが大賞応募作品数	116	101	264	75	A
	アートシアター鑑賞事業の参加者数（文化財団実施事業）	-	-	-	12,000	-
	文化会館入場者数	46	40	41	48	C
目標（指標）の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>北のまんが大賞は、イラスト部門の設置や親しみやすい募集テーマを設定したことにより応募者が増加している。</li> <li>アートシアター鑑賞事業は新たに設定した指標であるため、判定不可。</li> <li>文化会館入場者数は調査結果が毎年ではないため、判定困難。</li> </ul>				指標総合判定	B
連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内各部が作成する道の広報媒体にまんが大賞受賞者が採用されている。</li> <li>文化関係団体と連携し、道内の文化芸術団体の支援事業を実施している。</li> </ul>				連携判定	○
緊急性優先性	新型コロナウイルスの影響により、道内の文化芸術活動が停滞しており、活動の再開及び継続に向けた支援に取組み、本道の文化芸術活動の活性化を図る必要がある。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により多くの文化芸術活動が休止され、道民が文化に触れる機会も減少した。今後はポストコロナに向けた舞台公演活動の継続について検討する必要がある。				総合判定（一次評価）	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	引き続きまんが大賞の募集を実施し、本道のメディア芸術の振興を図る。
	②	ポストコロナにおける継続的な舞台公演活動について、文化関係団体と連携し検討する必要がある。
	③	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況 (R3. 3時点)	新型コロナウイルス感染症の影響により延期や中止となった事業があるものの、感染拡大防止策を講じた事業を進めており、今後も新北海道スタイルを実践した事業を実施し、地域文化の振興を図る。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4 施策の方向性	「第7回まんが大賞」及び「第3回絵コンテ大賞」の募集を実施する。関係団体と連携し、コロナ禍における文化芸術活動を支援する。